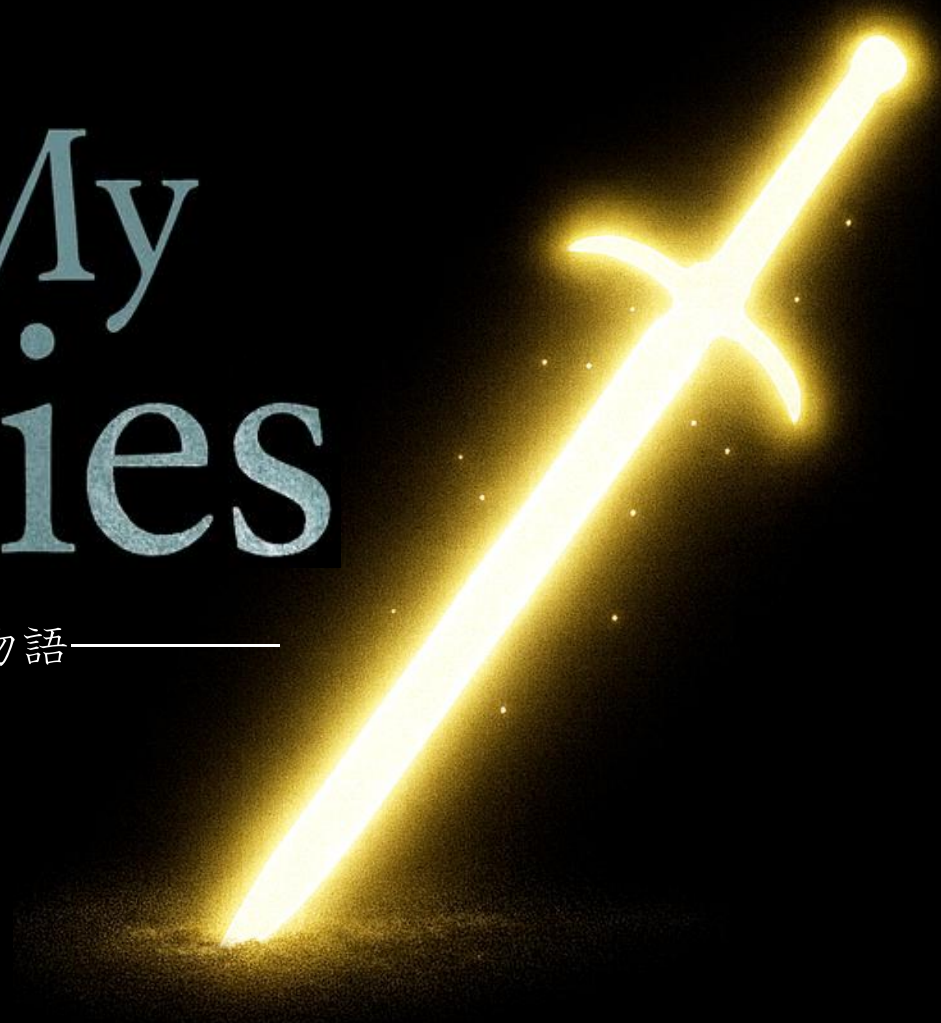


Goodbye, My Memories

さよならを、希望に変える物語——



ターゲット：大切な人を失った経験がある方

制作者：東颯馬 対応人数：1人

ジャンル：2DRPG 対応環境：PC、PlayStation4/5

主要キャラクター

ハル（プレイヤー）

祖母を亡くし、悲しみに暮れる中学生。
思い出の世界で祖母に出会う。



おばあちゃん

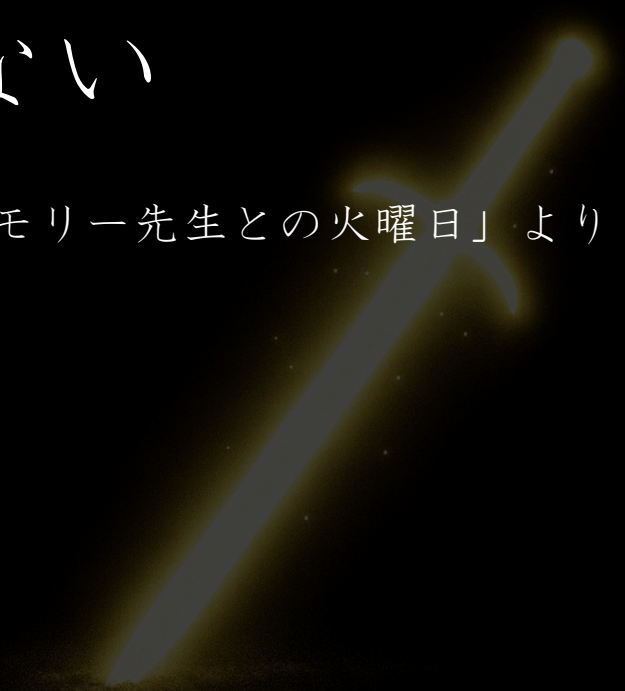
孫思いの心優しいおばあちゃん。
病気によって死んでしまった。

— 物語 —

最愛の祖母を亡くし、心を閉ざした少年「ハル」。
眠りの中で彼がたどり着いたのは、懐かしさと哀しみが交差する「思い出の世界」。
そこで再び祖母と出会ったハルは、別れを受け入れるための旅に出る。

誰もが死ぬことを知っているが
誰もそれを信じない

ミッチ・アルボム「モリー先生との火曜日」より



コンセプト

大切な人を失った経験から

もう一度前へ進んでいける希望を持てるように

祖母と巡る「思い出の世界」

そこは、夢のようで、どこか悲しい世界だった



思い出に閉じ込めようとする
「思い出の獣」

夢の中で最近死んだ祖母に会った。
嬉しかった。でも、それが夢だってわかっているから、辛かった。

「いつまでそうやって泣いてるつもりだい？」

「ばあちゃん・・・だって・・・」

「そんなんじゃ安心してあっちにいけないじゃないか」

「なんで死んじゃうんだよ・・・」

「・・・会いたいよ、ばあちゃん」

「・・・」

「まったく・・・しょうがない子だねえ」

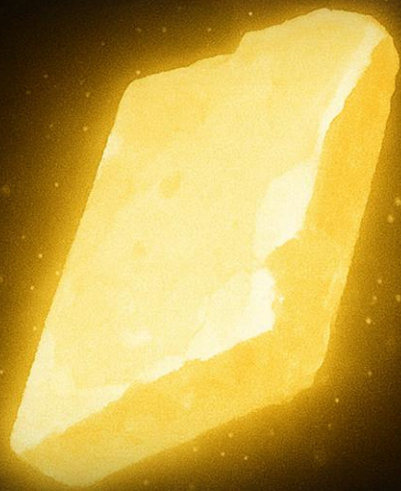
「一緒に歩こうじゃないか。あんたがもう一度、前に進めるように」

ゲームシステム

幸 せ な 過 去

「思い出の獣」

を倒すことで手に入る



幸せな思い出にはいつまでも
しがみついていた。
でも、それじゃダメなんだ。
辛いけど、前に進まなくちゃ。

この小さな希望が、いつか
闇を切り裂く刃となると信じて

「希望のカケラ」

ゲームシステム

祖母の持つ5つのサポート能力。
それは、ハルの強い思い出に起因している。

回復

ハルの好きだった料理を与え
体力を回復してくれる。

攻撃

思い出からの決別を
手伝ってくれる。

かばう

ハルの代わりに
ダメージを受ける。

いつかこの愛も
手放す時が来る——

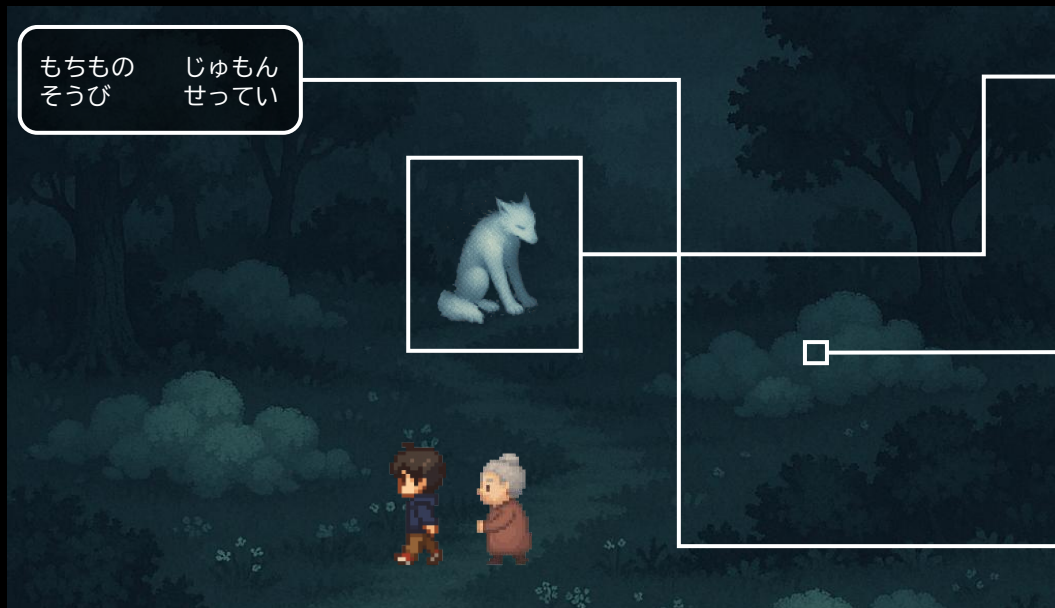
応援

ハルを応援し、ステータスの上昇
をランダムで付与する。

蘇生

戦闘中に一度だけ
ハルを蘇生できる。

画面イメージ



思い出の獣

- ・フィールド上に存在する敵
- ・当たるとエンカウントする

思い出の世界

- ・旅の舞台となるフィールド

メニュー

- ・所持品などの確認

プレイヤー・カーソルの移動



メニューを開く

決定

キャンセル

ーボスー

強い思い出を司る
5匹の獣



「再生の獣」

祖母の作る料理が大好きだった。

湯気の向こうの笑顔と、あの味が、疲れた心と体を癒してくれた。



この思い出と決別することで

祖母は「回復」の能力を失う

「叱責の獣」

始めて祖母に叱られた日のことを、今でもはっきり覚えている。
それが愛の形だと知ったのは、ずっと後のことだ。

この思い出と決別することで

祖母は「攻撃」の能力を失う



「抱擁の獣」

雷の鳴る夜は、決まって祖母の腕の中にいた。
優しく包むその腕の温もりが、たまらなく心地よかった。

この思い出と決別することで

祖母は「かばう」の能力を失う

「慈愛の獣」

小さい頃の荒唐無稽な夢を、祖母によく語っていた。
どんな話も、祖母は優しく微笑んで肯定してくれた。

この思い出と決別することで

祖母は「**応援**」の能力を失う

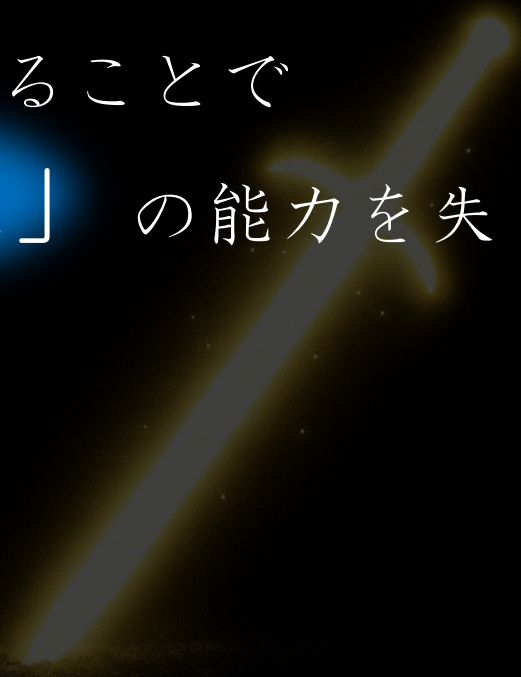


「惜別の獣」

あんなに暖かく笑っていた祖母が、冷たく横たわっている。
どれだけ願っても、祖母がもう一度その笑顔を見せることはない。



このゲーム最後の思い出
この思い出と決別することで
祖母は「蘇生」の能力を失う



物語の結末



全ての思い出に別れを告げ
集まった希望のカケラは形を成し
淡く輝く光の剣となる。

最後に残る思い出は^祖**最愛**^母の人。
自ら最愛の思い出を終わらせることで
ハルの心は真に解放される。

思い出を断ち、夢から覚めろ
その決別の刃で——

さようなら

私の思い出

